

事務事業名		施設の維持管理事業(し尿処理事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																										
政策体系	政策名	0 6 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目																										
	施策名	2 6 生活環境の保全				会計	款	項	目																							
	基本事業名	0 2 環境に配慮した生活の推進				06	04	01	01 00 02 00																							
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条、令第4条、浄化槽法第3条		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		事務事業区分																										
所 属		気仙広域連合 衛生課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和39 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																								
部課名		山田 宏基		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		<input checked="" type="radio"/> A 政策事業 B 施設整備 <input checked="" type="radio"/> C 施設管理 D 補助金等 <input type="radio"/> E 一般(A～D以外)																										
課長名		総務係		電話 0192-26-3739																												
係名		担当者 羽根川 恵一		内線 (直通)																												
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																												
<p>構成市町(大船渡市・陸前高田市・住田町)で排出され、委託業者により収集運搬されたし尿等を処理する施設である衛生センターを維持管理運営していく事業。</p> <p>平成22年度からは施設の維持管理を包括的民間委託としている。</p> <p>当広域連合が行う具体的な業務内容は、次のとおり。</p> <p>維持管理業務委託に係る事務、受託業者が行った業務の確認及び指導、維持管理業務委託料の支払事務。</p> <p>また、し尿の収集運搬委託業者が投入したし尿量及び浄化槽汚泥収集運搬許可業者が投入した浄化槽汚泥量を確認し、し尿処分手数料及び衛生センター使用料の納入通知書を各業者に毎月発行し、納入確認をしている。</p> <p>なお、令和3年4月より、くみ取り料金を380円/50ℓ(従前は346円/50ℓ)に改正した。なお、受益者負担としてくみ取り料に含めて住民より徴収しているし尿処分手数料は10円/50ℓのまま据え置きとした。</p>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td>事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		財源内訳	都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																														
	財源内訳	都道府県支出金																														
		地方債																														
		その他																														
	一般財源																															
	事業費計(A)	0																														
	人件費	正規職員従事人数																														
延べ業務時間																																
人件費計(B)		0																														
トータルコスト(A)+(B)		0																														

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
<p>計画処理能力を超える運転が続いていたが、令和2年度でその状況が改善された。受け入れたし尿及び浄化槽汚泥を全て施設で適正に処理した。</p>		ア	し尿等受入量
<p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>搬入されたし尿等を全て適正に処理する。委託業者から手数料、許可業者から使用料を徴収する。</p> <p>施設の維持管理業務については、令和2年度から令和4年度までの3ヶ年長期継続委託契約を締結しており、業務内容に盛り込んでいる機器類の定期修繕を計画的に行い、施設の延命化を図る。</p>		イ	施設休止日数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		ウ	
<p>○構成市町内で排出され、施設で処理するし尿等</p> <p>○し尿処理施設</p> <p>○構成市町の住民</p>		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		名称	
<p>○構成市町内で排出され、収集運搬されたし尿等が公衆衛生及び環境上問題のないよう処理する。</p> <p>○し尿処理が休止することのないよう、施設を維持する。</p> <p>○維持管理コストを抑え、構成市町に財政負担が高額とならないように務める。</p>		単位	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		カ	し尿等処理量
<p>○構成市町内で発生するし尿等が適切に処理され、管内の衛生環境が維持される。</p> <p>○し尿処理施設が常に良好な状態で保たれる。</p> <p>○維持管理コストを抑え、構成市町の財政的負担が軽減する。</p>		キ	1日における標準処理能力
		ク	構成市町の人口
		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		サ	し尿等処理率(処理量/受入量)
		シ	1日の平均稼働率(処理量/(365日-施設の休止日数)/処理能力130)
		ス	人口1人あたりの維持管理コスト(トータルコスト/人口)

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)
		単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	10,427	9,842	10,344	9,706	9,551
		一般財源	千円	137,777	136,289	126,654	127,034	128,844
	事業費計(A)		千円	148,204	146,131	136,998	136,740	138,395
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	3,544	3,544	3,544	3,544	3,544
		人件費計(B)	千円	14,176	14,176	14,176	14,176	14,176
		トータルコスト(A)+(B)		千円	162,380	160,307	151,174	150,916
⑤ 活動指標		ア	kl	52,137	49,208	51,722	48,533	47,756
		イ	日	0	0	0	0	0
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	kl	52,137	49,208	51,722	48,533	47,756
		キ	kl	130	130	130	130	130
		ク	人	64,944	64,066	63,067	61,862	60,731
⑦ 成果指標		サ	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		シ	%	109.6	103.7	109.0	102.3	100.4
		ス	円	2,500	2,502	2,397	2,440	2,512

事務事業ID	1089	事務事業名	施設の維持管理事業(し尿処理事業)
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
し尿の処理は、昭和39年にし尿処理行政の効率的な運営を目指して2市2町(現在2市1町)の広域で開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
東日本大震災による一時的な下水道処理人口の減少、高台移転や仮設住宅等の浄化槽汚泥の増加等で著しく変化しており、し尿処理人口・量の定期的な推移及び将来予測が難しい状況であるが、管内人口の減少に伴い、処理量が減少するものと思われる。
事業費は、住民受益者負担の10円/50ℓと構成市町の負担金でまかなっているが、平成22年度から施設の維持管理を包括的民間委託とし、経費の節減に務めている。
震災による災害復旧によって、焼却炉を廃止し、脱水汚泥の処分は民間業者に委託し、セメント製造時の燃料・材料として有効活用している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
東日本大震災により、し尿の処理を休止した際は、施設の早急な復旧が望まれた。
平成22年度からは施設の維持管理を包括的民間委託としているが、これにより維持管理コストが上がることはないよう議員から要望が出されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	構成市町内で排出されたし尿等が公衆衛生上問題なく処理されることは、管内の環境保全につながるものである。また、当施設が休止することなくし尿等を処理することにより住民の安心感を与え、快適な生活が保たれる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村はその区域内における一般廃棄物を収集、運搬及び処分しなければならないと定められている。当連合は、構成市町である大船渡市、陸前高田市、住田町の区域のし尿収集、運搬及び処分に関する事務を行うことになっている。※し尿や浄化槽汚泥は、一般廃棄物に区分されている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	当事業は、構成市町内で排出されたし尿等の処理と施設の維持管理事業であるため、対象は適切である。意図においても廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定められており適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	東日本大震災により、下水道供用区域から高台へと住民の生活圏が移動したため、浄化槽汚泥量が増加し施設をフル稼働しているが、全量処理できているため処理率について向上余地はない。また、施設運営方法を包括的民間委託としたことと、3ヶ年の長期継続契約としたことにより、トータルコストの抑制が図られている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	廃止又は休止にした場合、代替施設が構成市町にはないため、他地域へ委託することになる。他のし尿処理施設は人口規模に合わせて建設されているため処理量の余力が乏しく、民間業者への処分を委託する場合は県外の業者へ委託することとなり、運搬費用が莫大となる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	引き続き受託業者へ経費節減の協力を求めていくが、直営当時の人件費、薬品等消耗品費、重油等の燃料費を勘案すると委託料は妥当な額であると考えられる。また、包括的民間委託したことにより、職員の仕事量の軽減も図られた。今後も、委託業務が適正に行われているか、遂行状況を随時確認していく。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	包括的民間委託したことにより衛生課としての事務量の軽減が図られ、広域振興課業務の一部も兼任することで、広域連合全体としても人件費を削減できている。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	昭和62年施設更新時に、し尿処理に係る経費の10%を目標に受益者負担(処分手数料)を課すことに決定。更新に係る地方債償還を終えたため、平成18年4月から手数料改正を行い受益者負担を軽減し、管内統一料金とした。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
<p>① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止</p>	<p>左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 東日本大震災による施設の復旧工事により、汚泥の処分方法を焼却処分から民間業者へ委託しての堆肥化(資源循環)処分へと変更した。その後、平成28年度途中からは、セメントの原燃料として有効活用することによりコストの削減が図られ、現在に至っている。																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
<p>① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止</p>	<p>施設管理は長期契約による包括的民間委託としているが、専門業者のノウハウが十分に活かされており、時季的に搬入量が増減するし尿等の処理もすべて適切に行われている。本施設は築30年以上経過し老朽化が懸念されることから、引き続き、適正な施設の管理運営の徹底に努めるが、今後人口減及び水洗化率の向上により、し尿汲み取り量は減少し続けることから、処理体制の根本的な見直しが必要になる時期が将来的に到来すると考える。</p>